

# 自然や文化、観光の知識と情報の宝庫

## 日光自然博物館

### 7月17日オープン

県と日光市、東武鉄道などの出資による第三セクター方式で運営する「日光自然博物館」の建設工事が順調に進み、いよいよ七月十七日オープンします。

#### 見学時間は 約一時間です

オープンの七月十七日午前九時、小平市長をはじめ副知事や関係者が出席して、テープカットが行われ、いよいよ日光自然博物館が活動を開始します。

開館時間は、三月二十一日から十一月十日が午前九時から午後五時。十一月十一日から三月二十日が午前十時から午後四時です。

休館日は、毎月第四水曜日と十二月二十九日から一月三日です。

入館料は大人八百円、子供(中学生から四歳)四百円。館内の見学には、約一時間かかる予定です。

#### エントランスホール

玄関を入るとエントランスホールです。エントランスでは、明智平からの生映像を四

の構造は鉄筋コンクリート二階建てです。

この博物館は、日光を訪れる観光客に「体験観光」を楽しみながら、四季折々の自然と情報と知識が得られるように工夫されています。また、映像によって「日光の美の極致」最も美しい自然の姿と動植物の生態などを知ることが

五ヶモニターに映すリアルタイムガイドや、コンピュータ探索ガイドにより、日光に関する詳細な情報をスムーズに知ることが出来ます。まさに日光の窓口的役割を担うホールです。

レストランは、趣向を凝らしたさまざまなオリジナルメニューを取り揃えています。また、売店や身体障害者専用のエレベーターも用意されています。

#### 四季彩ホール

博物館のハイライトともいえる設備が、この映像ホールです。

高さ四層、幅二〇メートルの三面マルチ映像の大迫力画面に映し出される日光の自然。画質はもちろん、サラウンドシステムによる優れた音響は見事です。上映する作品は「日光の四季」「日光空の散歩」など。日光の魅力を存分に満喫

できる施設です。

日光自然博物館は、日光を訪れた観光客が一人でも多く、もう一度来見してみたくなるような施設を目指しており、日光の地域活性化はもちろんなこと、観光産業の振興に大いに役立つことが期待されています。

できます。

外国人には、バイリンガルイヤホンにより英語による音声案内が楽しめます。

#### 壁面装飾品「日光」

四季彩ホールから二階に上る階段の壁面には、日光市が寄贈した、木の素材を生かした装飾品「日光」が飾られています。

図案は、太陽の光「日光」がさんさんとふりそそいでいるもので、日光の概念を抽象的に表現、木材ブロックを組み合わせた作品です。

#### 人文系展示

テーマは「日光に生きる」。日光を語るうえで欠かせない歴史やゆかりの人物、文化芸術、さらに産業に関する知識を紹介するコーナーです。

また、貴重な文化財の見どころを模型で再現、伝統工芸を支える匠たちにもスポット

をあてるなど、多彩な試みで日光の厚みを感じさせます。

#### 自然系展示

テーマは「日光——その自然の生きものたち」。日光を訪れる人々を魅了する四季折々の美しさ、自然の営みのすばらしさをダイナミックに紹介

国立公園の利用案内に始まり、日光周辺の動植物、魚類、火山地型などの本質をビデオモニターや模型、写真などで楽しめます。

なかでも日光の名瀑のごう音や振動を体で感じさせる、滝めぐり体験は見事です。



地域活性化に役立つことが期待されている日光自然博物館